

3 アプローチカリキュラム例

- 各内容や実施月は、あくまで例であり、各園所の実情に合わせて計画し、実践しましょう。
- 幼児の姿をもとに活動の内容とねらいを考え、遊びや生活の流れに沿った計画となるように留意しましょう。
- 4ページのスタートカリキュラム例にも目を通し、小学校教育「～できるようにする」といった目標への到達度を重視するつながりを意識しましょう。



〈活動計画例〉

時期	生活をつなぐ	人をつなぐ	学びをつなぐ
年 長 後 半	10月 歩き方を考えよう 建物の廊下や階段でけがをした経験や危ないと思ったことを思い出し、安全に気を付けた歩き方を考えるようになる。	誰がお世話するの みんなの畑に水やりをしている友達の姿から、みんなのためになることを考え、集団の一員としての行動を意識するようになる。	虫探しをしよう 園庭での虫探しを思い出し、園外保育で訪れた公園でも、どこにどんな種類の虫がいるか予想をして虫探しを楽しむようになる。
	11月 お屋の準備をしよう みんなで楽しく昼食時間を過ごすため、椅子やテーブルの準備、飲み物の配膳の仕方を知り、自ら行おうとする。	気持ちを伝えよう 小学校の学習発表会に招待されたお礼に、児童に感謝の気持ちを伝える手紙を書き相手に親しみを感じるようになる。	図鑑を見てみよう 身近な動植物や自然現象について、興味を持ったことを図鑑を見て調べたり、分かったことを友達等に伝えたりしようとする。
	12月 うがいや手洗いをしよう マスクをしている姿から風邪が流行する時期であることを想起し、うがいや手洗いが風邪の予防になることを知り実践しようとする。	一緒に遊ぼう 小学校の校庭を訪れ、雪遊び等をきっかけに、小学生と校庭で一緒に楽しく遊び、小学生を身近に感じるようになる。	数えてみよう 数唱の利便性に気づき、生活の中で1から10までの数を保育者と一緒に数えたり、遊びに取り入れて楽しむようになる。
	1月 衣服の調整をしよう 屋外と屋内の温度差に合わせた服装を考え、季節や状況に応じた衣服の調節を自らしようとする。	みんなでやろう 仲間を誘ってサッカー等を楽しみ、互いの意見に相違があっても折り合いを付けながら仲良く遊ぶようになる。	かるた遊びをしよう 正月に家族や地域で行った遊びを思い出し、カルタ遊びを通して、文字に関心を持つようになる。
	2月 みんなで出かけよう 家族で外出したこと等を思い出し、交通ルールの意味を知り、自ら安全に気を付けて園外保育に出かけようとする。	小学校の先生に聞こう 小学校生活への期待と不安を持っている幼児に対し、小学校教諭と触れ合う機会を持つことで、より小学校に親しみを感じるようになる。	見通しを持って行動しよう 活動の切り替えや次の活動の準備を自分たちで考えて行うようになり、時計や一日の予定表を見ながら見通しを持って行動しようとする。
卒 園	3月 きれいにしよう もうすぐ卒園することを自覚し、これまで生活してきた保育室の清掃や身の回りの整理整頓をしようとする。	卒園(所)に向けて 今までの園生活を振り返り、たくさんの友達や先生方、職員にお世話になったことを思い出し、感謝の気持ちを持つようになる。	家族に聞いてみよう 小学校のことについて家族に聞いたことや知っていることを発表し合い、小学校の学習や生活に見通しを持つようになる。

4 スタートカリキュラム例

- 各内容や実施月は、あくまで例であり、他教科等においても横断的に指導できるように配慮しましょう。
- 新学習指導要領〔総則編〕には、幼児期の学びが入学後の各教科等の学習に円滑に接続されるようスタートカリキュラムを作成する必要性について記載されています。
- さらに、新学習指導要領の各教科等の章における指導計画の作成と内容の取扱いにスタートカリキュラム編成の工夫について記載されています。
- 生徒指導提要でも、スタートカリキュラムについて示されています。
- 3ページのアプローチカリキュラム例にも目を通し、幼児期の教育を通じて身に付けたことや経験してきたことを踏まえた上で実践しましょう。



〈活動計画例〉

時期	生活をつなぐ	人をつなぐ	学びをつなぐ
入学 4月 5月 6月 1学期末	学校探検（生活） 校内の探検を通し、学校の施設内の様子や働く職員を調べて、まとめることができる。	朝の会をしよう（朝の活動） 朝の挨拶で気持ち良く1日をスタートさせ、時間割で学習の見通しを持つことができる。	遊具の使い方（学活） 今まで遊んだことのある遊具遊びの約束を思い出し、校庭の遊具の使い方や約束を理解することができる。
	給食を食べよう（学活） 年長時の昼食の様子を思い出し、給食の準備の仕方を覚え、自分たちで配膳や片付けをすることができる。	挨拶・言葉遣い（学活） 職員室や保健室等に入室する際、誰にどのような用事があるかについて、はっきりと話すことができる。	ノートの使い方（算数） 学習する教科によりノートを使い分けることやノートに書く手順を覚え、板書内容を書き写すことができる。
	交通教室（行事） 安全に登下校するため、実際の道路や模擬道路での実地訓練を通して、交通ルールを理解し、実践することができる。	係を決めよう（学活） 年長時にみんなのために進んで行っていたことを想起させ、クラスの係活動を考え、仲間と協力して取り組むことができる。	運動会（行事） かけっこ遊びの経験を想起しながら、運動会の徒競走の練習を行い、走る順番を覚え全力を出し切って走ることができる。
	図書室の利用（国語） 図書室にみんなで出かけ、図書室の利用の仕方を理解し、好きな本を選んだり、借用や返却の仕方を覚えたりすることができる。	学校で働く人（生活） 学校で働く人にはどんな人がいるのか予想をし、調査のために職員にインタビューをして調べることができる。	一緒に歌おう（音楽） 園で歌ったことのある歌や手遊び等を思い出し、それを友達に伝えながら楽しく活動することができる。
汗の始末（体育） 体育の授業後や休み時間など、汗をかいた後にタオルで拭くこと、こまめに水分を補給する意味を理解して実行することができる。	紹介しよう（国語） 大好きな家族や仲の良い友達を紹介する作文を書き、感謝の気持ち等の自分の思いを文章で表現したり、発表したりできる。	季節を感じよう（生活） 校庭や公園などの植物や生き物の観察を行い、季節の変化等、気付いたことについて絵や文章でまとめることができる。	